

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年3月12日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	KC0878
排出削減事業者名	株式会社アステックコーポレーション
排出削減共同実施事業者名	環境経済株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	株式会社アステックコーポレーション 犬山工場 (住所：愛知県犬山市大字羽黒字長田 1-1)
事業の概要	重油ボイラ 1 台を都市ガスボイラ 1 台へ更新する。ボイラ更新を実施することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2009年度：169tCO2 2010年度：676tCO2 2011年度：676tCO2 2012年度：676tCO2 2013年度：660tCO2 2014年度：696tCO2 2015年度：675tCO2 2016年度：675tCO2 2017年度：512tCO2 (事業実施期間合計 5,415 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2010年1月3日 終了予定日 2018年1月2日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2017年12月31日（第3回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,209tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2017年12月31日)
-------	--------------------------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 本実績報告期間において、当該システムが稼働・運用されていることを事業者への質問及び都市ガス使用量の記録により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認された事業計画に従って、都市ガス使用量が把握されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 該当システムの記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、計測値の記録・保存が適切にされており、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、J-クレジット制度モニタリング・算定規定Ver2.10

	<p>及び承認排出削減計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認  事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2017年12月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018年1月2日となっているため、算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 -69.5kL、熱量換算-2695.7GJであることを確認した（CO2削減になっているが、省エネにはなっていない）。

なお、ボイラー効率が事業実施前よりも悪化している2017年12月分については、算定対象外としている。

以上